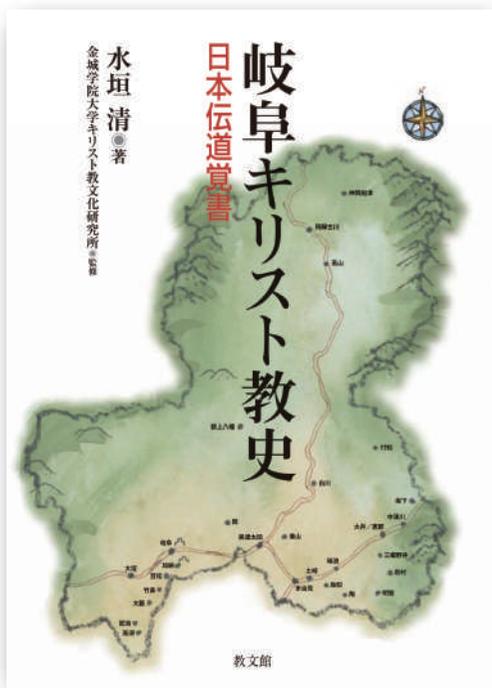




岐阜キリスト教史 日本伝道覚書

水垣 清 著

金城学院大学キリスト教文化研究所 監修 (落合建仁 解説)



地方伝道の稀有な通史

仏教の盛んな岐阜・飛騨の農山村に、キリスト教はどのように伝えられたのか？濃尾大震災、神社参拝問題、戦時下の幾多の困難にもかかわらず、教派を超えて牧師・宣教師・信徒たちがつないだ、熱意と愛の伝道の記録。

地方の伝道にはその地域のすべてを知ることが必要だと考えていた父・清は、一田舎牧師であることを貫いたその生涯の中で、岐阜県の教会の歴史を自分の手足と目をもって経験したことを書き溜めておいた。……

キリスト教会史はすべてが地域教会史から成る。(本書)が踏み台となって、清終生の召命の地域であった岐阜県の伝道の一助になれば、と願うのみである。

水垣 涉 [京都大学名誉教授] 序文より

著者紹介 水垣 清 1906年、愛知県生まれ。日本基督改革派教会牧師。W. A. マキルエンから受洗。神戸中央神学校で学ぶ(宗教学専攻)。高知、神戸で伝道ののち、中津川教会の牧師となり、38年間にわたって同教会を牧会した。88年に逝去。

著書 『中津川教会90年小史』(編著。日本基督改革派中津川教会、1981年) 『苗木藩校日新館沿革史』(国書刊行会、1982年)、『恵那山をめぐる歴史と伝説』(筆名・東山道彦。岐阜郷土出版社、1988年)、『R. E. マカルビン回想録』(石井正治郎共訳。つのだえ社、1995年)ほか多数。

解説者紹介 落合建仁 1981年、大阪府生まれ。東京神学大学大学院博士後期課程単位取得後退学。現在、金城学院大学文学部教授。

著書 『日本プロテスタント教会史の一断面』(日本キリスト教団出版局、2017年)ほか多数。